

No. 1436

郷土縁かりの画家

— 愛 知 ・ 岡 崎 —

愛知県岡崎市の岡崎市美術館ではいま、「郷土ゆかりの日本画家たち」展が開かれています。この展覧会は岡崎市美術館開館10周年を記念して開かれたもので愛知・岐阜・三重の東海三県下ゆかりの日本画家約40名の作品50点余りが展示されています。作品は幕末から現代に至る幅広いものとなっており、近代日本画の歩みを展望するうえでまたとない機会となっています。この展覧会は8月22日まで開かれています。

日米親善に一役

— Y F U —

アメリカ・ユタ州に住む高校三年生のミッジリー・サラさん。YFU(青少年交流協会)の日米交換留学生の一人として今年の6月来日、今日本の夏休みを楽しんでいます。

サラさんの日本留学を受け入れているのは神奈川県横浜市の石井吉樹さんご一家。石井さんの一家は御主人と奥さん、それに三人のお嬢さん、サラさんは4人目のお嬢さんということで毎日大変な賑わいです。サラさんの日課は朝6時起床して夜11時床に就くまで、日本語の勉強や文化・歴史を学ぶなど忙しい毎日です。近所の子供たちとも友達になりました。

石井さんの長女のみゆきさん(19才)は、3年前、YFUの留学生としてアメリカに行った経験を持つだけに、留学生の気持もよくわかり、サラさんも絶大の信頼をおいているようです。

日本での母親は奥さんの紀美子さん。ユカタももう一救縫いあげました。今年は331人のアメリカの留学生が来日しましたが東京の友人が訪ねてきました。しばし母国の話に興じていました。

来日当初は、日本の文化にとまどったサラさん。このところ貿易摩擦問題や防衛問題、さらにIBM事件などで少しギクシャクしている日米関係。日本の家庭生活にも慣れ、日本人への理解も日一日と探めるサラさん、日米親善に一役果しています。